

地域版防災マップ作成のねらい

- 地域の災害リスクについての情報を住民の皆さんによるまち歩きで、確認し、手作りマップを共同して作成することで、住民間の共助の意識の向上を図ると共に地域コミュニティの醸成に繋げることができます。

- 行政が配布したハザードマップに記載されていない「危険」を住民が共有することが出来ます。
 - ・ 河川の内水による浸水履歴
 - ・ 増水すると危険な水路などの危険箇所
 - ・ ハザードマップに記載されていない土砂災害履歴
 - ・ 昭和 56 年以前に建築された家屋を明示することで地震に弱い建物を知る
 - ・ 地震が発生した時や、浸水・土砂災害などの危険が高まった時の地域の避難所や、住民の安否確認のための集合場所
 - ・ 地域の災害特性・・・山の樹木の倒木被害
 - ・ ため池が決壊した場合の被害想定
 - ・ 土砂災害などで孤立が想定される地域
 - ・ 防犯灯などが設置されていない暗い危険な道路 など

- 自然災害を無くすことは出来ませんが、自分たちの命を守り、被害を最小限に食い止めることは出来ます。

- 地域で起こり得る災害を知り、備えることで地域の防災力を高めることができます。